

平成 21 年 12 月 25 日

各 位

会 社 名 ミクロン精密株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 榊原 憲二  
 ( J A S D A Q ・ コード 6159 )  
 問合せ先  
 役職・氏名 管理部次長 遠藤 正明  
 電 話 (023) - 688 - 8111 (代表)

## 為替差損の計上、投資有価証券評価損の計上に関するお知らせ

この度、当社において、下記のとおり為替差損を営業外費用に、投資有価証券評価損を特別損失に計上する必要が生じたので、その概要をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成21年11月期末の為替差損の計上

平成21年11月期末の為替レートは、米ドル86.76円、ユーロ130.11円となりましたが、前期末の為替レートは、米ドル95.56円、ユーロ123.21でありました。これらの為替変動により、外貨建資産等による為替差損（営業外費用）148百万円の計上を見込んでおりますのでお知らせいたします。

なお、この為替差損は、外貨建資産等による為替差損と、デリバティブ債権の期末時価評価による投資有価証券評価損を合算しております。

(A) 平成 21 年 11 月 期 末 の 為 替 差 損 の 総 額	148 百万円
(B) 平成 20 年 11 月 期 純 資 産 額 (A / B × 1 0 0)	5,535 百万円 (2.7%)
(C) 平成 20 年 11 月 期 経 常 利 益 の 平 均 額 (A / C × 1 0 0) (注) 2	775 百万円 (19.1%)
(D) 平成 20 年 11 月 期 当 期 純 利 益 の 平 均 額 (A / D × 1 0 0) (注) 2	335 百万円 (44.2%)

(注) 1 当社の決算期（事業年度の末日）は、11月30日です。

2 最近終了した事業年度の経常利益及び当期純利益が10億円未満のため、経常利益及び当期純利益は最近5事業年度の平均としています。

## 2. 平成21年11月期末の投資有価証券評価損の計上

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成21年11月期末において減損処理による投資有価証券評価損の計上を見込んでおりますのでお知らせいたします。

(A) 平成21年11月期末の投資有価証券評価損の総額	90百万円
(B) 平成20年11月期 純資産額 (A/B×100)	5,535百万円 (1.6%)
(C) 平成20年11月期 経常利益の平均額 (A/C×100) (注) 2	775百万円 (11.6%)
(D) 平成20年11月期 当期純利益の平均額 (A/D×100) (注) 2	335百万円 (26.8%)

(注) 1 当社の決算期(事業年度の末日)は、11月30日です。

2 最近終了した事業年度の経常利益及び当期純利益が10億円未満のため、経常利益及び当期純利益は最近5事業年度の平均としています。

## 3. 今後の見通し

平成21年11月期の業績につきましては、確定次第直ちに公表いたします。

以 上